

# 第1章 南三陸町のまちづくりが目指すこと

## 1 まちづくりの基本理念

南三陸町には、豊かな自然や歴史という、貴重な財産があります。水産業や農林業をはじめ、私たちの暮らしや<sup>なりわい</sup>生業は、常に、この自然の恵みを授かりながら、営まれてきたものです。

まちづくりの原点は、そこに住む人にとって、住みよい地域を創り・持続することにあります。これからのまちづくりにおいては、私たち町民自身が、南三陸町という新しい舞台で、いかに町の暮らしを楽しみ、町を愛することができるか、このことが原動力となって町民一人ひとりが町に自信

や誇りを持ち、内外に向かって町の魅力を発信し、未来を切り拓いていけるようになる必要があります。

先人から引き継がれた歴史・文化・自然と自分たちの暮らしや<sup>なりわい</sup>生業の深い関係性を認識し、その価値を、今に活かすとともに、誇りを持って未来に引き継ぐことのできる魅力ある南三陸町を創造していきます。

以上を総括するものとして「**自然との共生**」、「**自治意識の高揚**」、「**ブランド化の推進**」を南三陸町総合計画の基本理念とします。

## 2 まちの将来像

この基本理念と本町の発展可能性を踏まえ、目指すべき町の将来像を次のように定めます。

# 自然・ひと・なりわいが紡ぐ 安らぎと賑わいのあるまち・南三陸町

### 自然・ひと・なりわい

暮らしの中にある町民同士のつながり、あるいは人と自然、社会とのつながりが、新しい価値を持って再生されています。

このような町民の価値観の変化に伴い、環境負荷の小さい持続可能性の高い生活スタイルが実現されています。また、人、モノ、情報、資金の有機的なつながりが生み出されることで、地域性や独自性にこだわった“南三陸型”のなりわいが創出され、外部環境の変化にも対応力のある自立（自律）した腰の強い地域経済が確立されています。

### 安らぎ

まちは、そこに暮らす町民一人ひとりの人生の舞台です。全員がその人生を謳歌できるようにするため、心身が健康で社会福祉や生活上の不安や防災面での安全性などの生活環境上の不安が解消されて、安心して健やかに暮らせる場が形成されています。

### 賑わい

まちの魅力に誘われ、外から人々が集まり、交流が盛んに行われています。また、同時に町民同士の交流も活発に行われています。この内外2つの交流が活性化することで、まちが賑わい、産業が活発化し、文化が育まれ、人々が成長していきます。それによって、さらにまちの魅力が向上し、交流がまちの魅力増大に結びつく、成長を続ける空間が形成されています。

## 3 まちづくりの視点

本計画で定めるまちづくりの理念の下、将来像として設定したまちの姿を現実のまちづくりへと反映していくために、まちづくりのあらゆる分野において、「**連携**」、「**循環**」、「**自治**」を意識した地域運営を行うこととします。

### 連携

様々な課題に取り組むにあたっては、協働という考え方を基本に据え、町民・団体・企業など多様な地域の主体と行政が連携し、協力することにより、まちに潜在する力を最大限に引き出し、まちづくりに取り組んでいきます。

### 循環

環境面での資源の活用・再利用だけでなく、経済や文化など、まちを形成する一つひとつの活動が、効果的に結びつき、全体として無駄のない地域内循環の仕組みを基本とした循環型のまちづくりに取り組んでいきます。

### 自治

地方分権時代とは、地域住民が自らの責任と判断に基づき自由なまちづくりを進めることができる自治の時代です。この自治の考え方は、行政に限らず、町民一人ひとりにも求められることであり、様々な地域コミュニティを単位として、参加と協働の実践を積み重ね、自治の仕組みを形成しながら、まちづくりに取り組んでいきます。

